

愛媛県大洲警察署協議会会議録

(令和5年度第1回)

日 時	令和5年6月29日（木曜日）午前10時00分～午後0時20分
出席者	1 警察署協議委員 会長以下8人 2 警察署 署長以下11人
	<p>1 会長挨拶要旨</p> <p>(1) 大洲警察署員の日頃の警察活動に対する謝辞、激励 (2) 積極的な意見発表の依頼</p> <p>2 署長挨拶要旨</p> <p>(1) 警察活動への協力に対する謝辞 (2) 忌憚のない意見・要望の依頼</p> <p>3 業務推進結果報告（令和5年1月～4月） 各課長説明実施</p> <p>4 業務推進計画（令和5年5月～8月） 各課長説明実施</p> <p>5 業務報告・計画に対する委員からの主な意見・要望</p> <p>意見 愛媛県警察が、特殊詐欺被害防止について様々な方法・機会で広報活動を実施していることは承知しているが、先般、大洲市において多額の詐欺被害に遭ったという報道を目にした。報道によると、被害者は電話口で「あなたは犯罪者です。」と告げられたようだが、その結果として追い詰められ周囲に相談できなかったのではないかと推測する。警察においては、相談しやすい環境づくりにも配慮していただきたい。</p> <p>答 御意見のとおり、たとえ犯罪者だと告げられて精神的に追い込まれた場合でも、少し踏みとどまってまず相談していただけるよう、広報活動をより推進するとともに、親身に相談対応をしてみたい。</p> <p>意見 子をもつ親として、世間的に話題になっている闇バイトを非常に心配している。進学・就職世代になり都会に転出する若者も多いと思うので、そのような世代を対象に警察官による講話を実施していただきたい。</p> <p>答 様々な機会を通じ、積極的な広報活動を推進してみたい。</p> <p>意見 自動通話録音機を設置している知人から聞くと、録音されることを嫌ってか迷惑電話やセールスの電話がすぐ切られるようになり、効果を感じているとのことであった。このような機械の普及活動をより推進してほしい。</p> <p>答 当署では自動通話録音機の貸し出しを行っている。台数に限りがあるため、被害に遭いかけたと相談のあった方や要望のある独居高齢者の方に優先して貸し出すこととしている。</p>

引き続き、特殊詐欺被害防止の広報活動を推進する。

意見 昨年、菅田地区において強盗事件が発生した。防犯カメラは犯罪抑止に効果的であると思うので、ぜひ設置数を増やしていただきたい。

答 防犯カメラに関しては、優先順位を検討しながら設置している。予算面の課題もあるが、ご意見のとおり犯罪抑止効果が見込まれるため、関係機関に協力を呼びかけるなどして、普及活動を推進してまいりたい。

意見 平日の日中に、い集している学生風の若者を見かける機会が増えたと感じるが、このような場合はどういった対応をとればよいか。

答 緊急性のある場合は110番通報をしていただき、その他の場合は当署まで通報・相談いただきたい。

意見 小田地区では、中高生がよく川遊びをする。まもなく夏休みを迎え、水辺で遊ぶ機会が増えると思うが、同時に水難事故の危険性も増すと思われるので、可能な範囲で警察官による巡回をお願いしたい。

答 子どもたちが悲惨な事件・事故に遭わないよう、パトロールや広報活動の強化に努める。委員の皆様においても、地域で見守る活動をお願いしたい。

意見 昨年、菅田地区で強盗事件が発生したが、犯人が逃走中ということもあって非常に不安を感じた。そのような中、警察官が保育所付近に立って警戒活動をしてくださり、大変心強く、安心感を得た。警察官の制服姿は非常に頼もしいので、今後とも積極的な街頭活動をお願いしたい。

答 安全安心なまちづくりを目指し、引き続き各種警察活動を積極的に推進する。

意見 前回の協議会において、菅田交差点の西側にある停止線の後方がカーブとなっているため、交差点の見通しが悪く、赤信号で停車していると、後続車が追突する危険性があるとの意見を述べたところ、早急に注意喚起の看板を設置していただいた。看板設置後は、危険を感じるものが減ったと体感しており、感謝申し上げます。

答 貴重な御意見をいただいたことで、効果的な対策を講じることができた。交通事情の改善には、通行頻度の高い住民の皆様からの意見が大変参考になる。今後とも御協力をお願いする。

意見 愛媛県警察が推進する「大人も手を上げよう運動」について、大変よい取り組みだと感じている。横断歩道付近に人を見かけても、横断するのかわからないのか分かりにくいこともあるが、積極的に手を上げることでドライバーも明確に認識しやすい。ぜひ、この運動を更に推進していただきたい。

答 引き続き、運動の推進に取り組む。

意見 交通安全意識を醸成するには、幼少期からの教育が必要であると感じる。ぜひ、幼稚園や小学校などに積極的に出向き、交通安全講話などの活動を推進していただきたい。

答 管内の幼稚園や学校と連携し、交通安全活動を推進する。

意見 交通ルールは複雑であり、気を付けていてもうっかりと違反を起こすこと

もあると思う。例えばクイズ形式で交通ルールを学べる機会をつくるなど、興味をもってもらえるような広報活動をしていただけるとありがたい。

答 いただいたご意見を基に、工夫を凝らした広報啓発活動を展開してまいりたい。

6 諮問・答申

諮問 「災害対策の推進」について

【諮問の要旨】

(1) 災害情勢

昨年、県内において大規模な災害の発生は無かったが、管内においては、豪雨による土砂災害警戒情報（避難指示）が発令されるなど、あと少し降雨が長引けば、重大な土砂災害の発生に繋がりがねない状況も認められた。

昨今では、頻繁に線状降水帯の発生も認められ、今後、平成30年7月西日本豪雨に匹敵する河川の氾濫も予想される。

また、南海トラフを震源とする巨大地震について、令和4年1月13日、政府の地震調査委員会は、10年以内では「30%程度」、30年以内では「70～80%」と発生確率を据え置いたが、40年以内の発生確率については前年の「80%～90%」から「90%程度」に引き上げるなど、近い将来の巨大地震や津波の発生も懸念されている。

(2) 大洲警察署の取組

当署では、東日本大震災や平成30年7月西日本豪雨など、過去の大規模災害の反省教訓を踏まえ、関係機関との連携や各種訓練の反復など、災害に備えた対策を継続して実施している。

一方、災害対策には終わりはなく、今後も不断の取組を推進していく必要があることから、当署の災害対策について諮問する。

【答申】

(1) 日頃からの訓練の重要性

いざというとき、日頃からの訓練を積んでいないと、円滑に動くことができないと思う。平成30年7月西日本豪雨災害から一定期間が経過したが、時が経つと人間は慣れてしまう。慣れを排除し、引き続き積極的な訓練の実施をお願いしたい。

(2) 自主防災訓練への参加及び広報活動の実施

今回、初めて警察署協議会に参加した委員からは、警察が災害対策を行っていること自体知らなかったという意見があった。災害対策において必要なのは自助・共助・公助であるが、公助を担う警察がどのような活動に取り組んでいるかを住民に知ってもらう必要があると感じる。大洲警察署にあっては、地域の自主防災訓練などに積極的に参加し、広報活動を推進していただきたい。

以上2点を申し上げ、答申とする。

7 協議会の様子

会議の様子



同左

